

1 背景と目的

○背景

・昭和47年の開園から40年以上が経過しており、利用者のニーズに応え、公園の特性を活かした満足度の高い公園づくりが求められている。

○目的

・設管条例の目的にある「すぐれた自然環境を保護し、活用し、県民にいきいこの場を提供するとともに、広く県民文化、体育の向上に資する」ことをコンセプトとし、希望が丘文化公園のあるべき姿を明らかにする。

2 施設概要

○位置

・野洲市、湖南市、竜王町にまたがる幹線交通網に恵まれた地

○面積

・東西約4km、南北約1kmに広がる、416haの広大な自然緑地

○主な施設

・青年の城、野外活動ゾーン、キャンプ場、スポーツ会館、陸上競技場、球技場、野球場、テニスコート、フィールドアスレチック、グラウンド・ゴルフ場

○来園者数

・近年は年間約85万人前後で推移

4 希望が丘文化公園の将来像と方向性

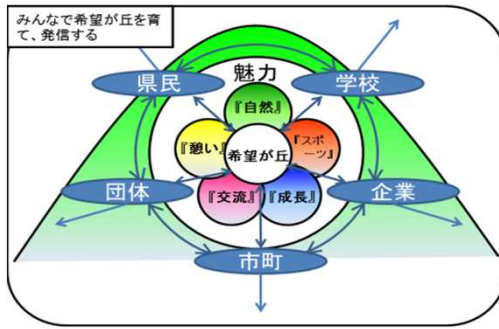
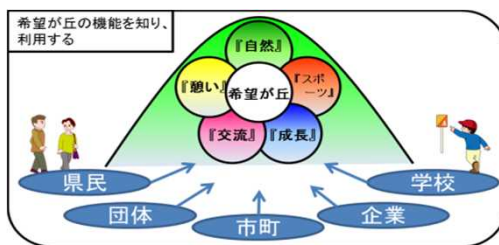
基本理念

人々の余暇活動を豊かにする公園

時代の変化

「人と人」「人と自然」の関わりを深め、心の豊かさを育む公園

将来像



取組の方向性

	短期	中長期
『自然』	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然とそこに息づく動植物を活かすための管理 ○自然の風景地や多様な動植物を知り、観賞・活用しやすい場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な管理による里山の再生や持続可能な資源活用の実施
『憩い』	<ul style="list-style-type: none"> ○自然や芝生広場の中でのびのびとできる取組の実施 ○安心して快適に過ごせる施設・場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して快適に過ごすための施設の改修・建替 ○園内外の交通アクセスを改善する取組の実施
『スポーツ』	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツやレクリエーションを気軽にかつ快適に取り組める場の提供 ○スポーツやレクリエーションの大会の実施や観覧の機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○国民体育大会等のスポーツ大会を呼び込む競技性・快適性の高い施設の整備 ○新たなスポーツ・レクリエーションの普及にあわせた場の提供
『交流』	<ul style="list-style-type: none"> ○家族や仲間、来園者同士が世代を超えて交流を深める場の提供 ○自然体験活動や野外活動等に取り組む団体の交流を深める場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○希望が丘文化公園が持つ人材・ノウハウを活用した園外交流の展開
『成長』	<ul style="list-style-type: none"> ○自然体験活動や野外活動、レクリエーションで学びを伝える取組の実施 ○自然体験活動や野外活動を指導する人材育成の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の自然体験活動や野外活動を支援する体制づくり

みんなで育てる

- 公園の運営・事業に参画する公園サポーターを各主体から募集
- 公園サポーターで構成する魅力づくりに向けた検討会を実施

みんなで発信する

- 各主体がフェイスブック等により希望が丘の取組・魅力を発信
- 各主体と連携し、園外での地域活動・交流を積極的に実施

3 強みと課題

【強み】

- 豊かな自然を持つ公園
- スポーツ・レクリエーション機能を持つ公園
- 教育的機能を持つ公園
- 人と人をつなぐ公園

【課題】

- 人口減少・少子高齢化
- スポーツ・レクリエーションの推進
- 公園の管理(施設の老朽化等)
- 魅力づくり・魅力発信

5 目標

- 希望が丘の年間来園者数89万人(H26)
⇒100万人以上(H52)
- 満足している利用者の割合85.1%(H26)
⇒95%以上(H52)

6 将来像の実現に向けて

- 老朽化に対応する施設の更新計画を含めた希望が丘文化公園基本計画を策定。
- 収益の増加・効率的な運営管理による経費削減、機能集約等による必要施設・設備の見直し。
- 本ビジョンは10年を目途に評価し、柔軟に見直しを実施。